

# 独立自尊

## 隣保回覧

小菅中学校 学校だより

2月1日 No.9

文責:校長 勝野誠



小菅中ホームページ  
QRコード

1月14日(水)より3学期がスタートしました。令和7年度も残り2カ月となりました。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」というように、ここからはあっという間に過ぎていきます!大切なのはやはり日々の生活や学習に一生懸命取り組むことです。今後とも本校教育へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



14日(水)3学期始業式が行われました。3学期の授業日数は1,2年生が50日ほど。3年生は40日ありません。2学期が80日間あったことを考えるとあっという間に過ぎてしまいそうですね。とても短い学期ではありますが、過ごし方によっては一年で一番大きく成長できる学期でもあります。「新年度0学期」のつもりで、新たに自分なりの目標を立て、チャレンジしていきましょう(^o^)  
「3年生にとっては大事な受験があり、勝負の学期となる」という話もありました。どんなに準備をしても不安な気持ちは拭えないのが現実だと思いますが、それでも「やり残したことがない!」と胸を張れるくらい精一杯がんばり続けてほしいです!残り少ない中学校生活!とにかく熱く生きましょう!



16日(金)はバレーボールの様子をお伝えします。3学期の体育はバレーボール。今日はオーバーハンドの練習に取り組んでいました。壁パス。まずは返ってきたボールをキャッチする練習を繰り返します。「(髪の毛の)生え際でとらえる」「膝を曲げてとらえて、伸ばしながらパス」といったポイントを聞きながら練習します。二人組で対人パス。最初はキャッチから。ボールの下に素早く動き、「生え際」「膝」「指全体」を意識しながらキャッチします。何回か繰り返した後、オーバーハンドで対人パス。「低いボールはアンダーでいいよ」「気づいたことはアドバイスしてあげよう」途中メンバー交代をしながら、みんな楽しそうに練習に取り組んでいます。来週からはラリー、スパイク、サーブと練習を進め、ゲームへと繋がるようです。楽しみです(^-^)



14日(水)には早速「書き初め大会」も行われました。1年生は「春風」2年生は「青雲の志」3年生は天地清新。ちなみに「天地」とは、天と地。世の中。「清新」とは、清らかで新しいこと。すがすがしく、陳腐でないことといった意味だそうです。「新しい年が明け、世の中がすがすがしく、清らかである」といったような意味だそうですよ。

1年生は「シーン」とした雰囲気。2年生は「ほわぁ〜ん」としたような和やかな雰囲気。3年生は若干にぎやかだったような…(^-^;)まあどの学年も冬休み明けにしては上々の滑り出し…と言ってもよいでしょう(^-^;)

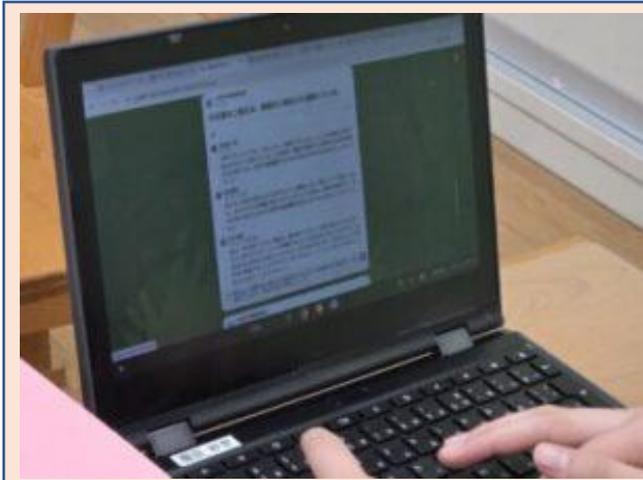


1月11日(日)には小菅村の出初め式が行われました。中学生も少年消防隊として12名が参加しました。今年からは屋内で行われる式典と屋外で行われる操法と二部形式で開催されました。式典はとても厳粛な雰囲気の中で行われました。行進と操法は12月に大月消防署の方に丁寧に教えていただき、この日もとても立派な姿を見せられました(^)大変お忙しい中、ご指導いただいた大月消防署の方々に心より感謝申し上げます。

小菅村にとって、大人だけでなく小中学生にも防災意識や「自分たちの地域を自分たちで守る」という心を育てることは、意義深いものです。学校としても今後いざという時に行動できる力を日常生活の中で育てていきたいと感じました。



19日(月)2年生の道徳。テーマは「伝統」。伝統を守る上で大切なのは「教えてもらったとおり練習すること」と「自分たちで工夫して練習すること」のどちらか…という問いに対して子どもたちからは「自分たちで工夫して練習することは大事だけど、教えてもらったことも大事」「伝統が始まった理由や込められた想いを学び、その意味を繋ぐことが大切」「自主性と自分勝手は違う」「教えてもらうことがベース。そこから自分たちらしさやその年なりの良さを出す」といった意見が出されていました。4月から最高学年となる2年生。「伝統」を引き継いでいくためには、一つ一つの活動に込められた想いを学び、そこに自分たちの想いを乗せながら、その年のメンバーでできる活動を全力で取り組むということが大事ということでしょうね。



20日(火)3年生の国語。この時間の目標は「具体例を挙げることで、筆者の考えを理解する」というものでした。「わかりやすさや反応の速さが求められる時代、大量の言葉の前に、じっくり言葉と向き合い思考する時間も、吟味して言葉を選ぶ心の余裕もなくなっている」という筆者の文章に対して、子どもたちからは「早く返答するという焦りから吟味をしないで鋭利な言葉になってしまったり相手を不愉快な言葉を使ったりしてしまう」「ニュースアプリやネット記事では、結論を急ぐあまり見出しだけを読んで内容を理解した気になってしまうことがある」「現代は速さが重視され、言葉をじっくり考える時間が減ってしまっているからこそ誤解や対立が生まれやすくなっていると思う」といったコメントがあげられていました。いつもはにぎやかで、あっけらかんとした3年生なのですが、いやいや大したものですよ！3年生の立派な姿を見て、とても誇りに思えました(^)



21日(水)1年生の数学。「この単元で習った作図を使って掲示物をつくろう」ということで、3人で掃除当番表をつくる活動をしていました。

苦勞しながらも「できた!」ということで外の円と内の円を合わせてみると…「若干ズレてる!」との声。「そのくらいのズレだったら、マジックで太くなぞっちゃえば何とかなるのでは?」とも思いましたが、そこは数学。ズレていそうな方を修正。作り直したけど…「あれ?何かおかしい?」きちんと作図できていればきれいな3等分になるはずなのですが…何か違和感があったようです。「形」「広さ」「長さ」「角度」「間隔」等々。揃っているとやはりきれいだし、少しズレていると「あれ?」と感じる時はありませんか?こういった「感覚」ってとても大切だと思いますよ。ちなみに掃除前には無事に掲示することができました(^)メデタシ(^)